

曹洞宗新潟県第四宗務所
布教師会冬季研修会

演題「信心の大事」

令和8年3月2日 於：秋葉区文化会館



1. ◎曹洞宗はご本山が永平寺と總持寺の両本山がある意味
永平寺御開山道元禪師は人として生きながらに仏になる成仏の道を解かれ、總持寺御開山瑩山禪師は、その道を歩む生き方である修行生活を具体的に示されました。

曹洞宗は普遍的な教えを修行や生き方によって伝えてきた宗派です。こうした歴史的な背景を知れば知るほど一佛両祖をご本尊と仰ぎ続けて来た意味が理解できるのです。

2. ◎曹洞宗のみおしえは、個々の信仰とは別に、人が人として正しく充実した人生を送るための生き方を説かれています。

日本仏教の中でも曹洞宗は基本的には お釈迦様 道元禪師 瑩山禪師を本尊と仰ぎますが全国の寺院を確認してみると、本堂にお祀りなされるご本尊様は様ざまです。

◎お釈迦さまの時代の仏教と大乘仏教

お釈迦さまは仏様を拝みなさい、この経典を信じなさいという教えではなく「自燈明・法燈明」と自らの終末に弟子たちに説かれました。教えや真理を理解して自らの力で修行しさとりを得るといふものです。

日本の大乘と言われる教えの大半は、大いなる如来・菩薩・祖師に信心を深め、また経典を信じ深く学ぶ事を大事としています。

曹洞宗はその両面を兼ね備えた教えであるといえます。

3. ◎ 檀家と寺院
両祖様の時代はお寺にとっての檀家という結びつきはなく、教えを説く僧侶に師事する信徒の集まりでありました。

太祖瑩山禪師の時代になり、寺院と檀信徒のつながりを深める仕組みが作られました。

◎ 高祖道元禪師の真理のおしえ 太祖瑩山禪師さまのお手紙

太祖瑩山禪師『尽未来際置文』の教えは、現代に生きる私たちに伝えられた手紙。

和合和睦の大事をお伝えくださいました。

私たちを支えてくださった先祖・親・先生・ほとけさまのお言葉、存在は私たちの中に生きています。

「回向返照の退歩を学すべし」高祖道元禪師が『普勸坐禅儀』に示された真理。

メ モ